

菜々屋の取り組み



令和6年11月28日(木)

株式会社 菜々屋

代表取締役 松原克浩

菜々屋の歴史

平成16年(19年前) 各法人の代表が、それぞれが農業を始める
自社で営業も始める

平成24年(11年前) **青果卸販売会社**として誕生

平成27年 (8年前) チーム情熱開所

平成30年 (5年前) チームリバー開所

令和2年 (3年前) チームカネイ開所

令和3年 (2年前) ノウフクアワード2021準グランプリ受賞

令和4年 (1年前) 新規就農者と菜々屋とチームシリーズ連携

令和5年 **ブランド野菜の高齢化地域と福祉間連携の再生プロジェクト**

審査員特別賞
「未来を耕す」

2021
ノウフク
アワード
NOUFUKU AWARD
2021

株式会社菜々屋

徳島県徳島市

👑 県全体の農業法人4社が面の連携により、農業の担い手を産み続けています。



👑 概要

2012年に販売・農福連携を進めるため、農業法人4社の社長が出資して設立されました。4企業の全てが障がい者雇用をしており、2015年から就労継続支援A型事業所をそれぞれの地域で順次スタートさせ、2022年4月には徳島県全域をカバーします。

農作業を幅広くサポートする一方で、現在、野菜の流通販売事業で1、2億円の売り上げがあります。適正価格での野菜販売を継続させることを実現しており、世界を視野に入れ、輸出にも力を入れていきます。今後、10年で5億円の売り上げを目指しています。

30品目以上の農産物販売を伸ばしつつ、県内全域のJAや農家さんの農業経営サポート（草刈り、定植、集荷、調整、出荷作業など）を広げることで、地域農業の持続可能性を高めていきます。

👑 成果

<農林水産業>

- ・グループのA型事業所では農作業のポイントを的確に押さえた評価を実施することで、給料が最低賃金より3%向上しています。
- ・グループの農業法人でも障がい者をどんどん正規雇用しています。農場長や機械オペレーターとして働いたり、勤務9年目になる人もいます。
- ・25人が一般就職（障がい者枠含む）を実現しました。農家、農協、市役所、学校、その他企業など幅広い分野で働いています。

<障がい者等>

- ・農業未経験で障がいや病気を抱えている人が、無理なく農業に挑戦できる環境を県全域に面で作、地域の農業を支える大きな力として活躍しています。

<地域>

- ・県市町村の依頼や、多方面の勉強会等で農福連携事例を発表し、この循環を広める活動を1年で15回ほど実施しています。

新しい挑戦

菜々屋のコンセプト

1人じゃなく仲間と
農業で必要なことはすべてやる

青果販売・コンサルティング・
海外展開・産業連携
ノウハウ連携など



徳島から発信！
若手農家が一丸となり
日本の農業を新しくする！！

菜々屋は徳島全域の若手農家が集まり作った会社です。

農家自らが作物の魅力を伝えるために作りました。

農家だからこそ伝えられる商品の価値、生育環境、農家自身の想い。

菜々屋を架け橋として生活者に届けます。



株式会社 菜々屋

徳島県徳島市川内町平石若松20-

TEL.088-665-4133 FAX.08

<http://nana-ya.com>

<https://www.facebook.com/>

くわしくはホームページをご覧ください

菜々屋を運営するにあたって 農業の課題

- 1 販売先
- 2 労働力の確保
- 3 地域農業の衰退

徳島の産地



菜々屋のきっかけ「他にもなんかない？」 ➡ みんなで営業（徳島県産）

■■ 運営メンバー ■■

菜々屋の役割	名前	運営メンバーの会社	以前の職業
農家	松原克浩（47歳）	（株）リバーファーム	元建築設計事務所経営
	武澤 豪（45歳）	（株）タケザワ	元銀行勤務
	三木義和（44歳）	（株）情熱カンパニー	元人材派遣会社経営
	矢野正英（46歳）	（株）カネイファーム	元資材会社勤務
事務	矢野望美（42歳）	（株）カネイファーム	元看護師



松原克浩



武澤 豪



三木義和



矢野正英

他の農家の野菜も営業販売



徳島県 野菜の総合窓口として、菜々屋が進化

農家の悩みをコンサルティング



農家

人手が集まらない
雇用しても、すぐやめる
短期だけ、きてほしいけど・・・
繁忙期でなかなか教えられない
何を作ったら売れるのか
売り先がない

自らの経験を生かして相談にのっていた

農業は人手不足だ

就労継続支援A型 を立ち上げた

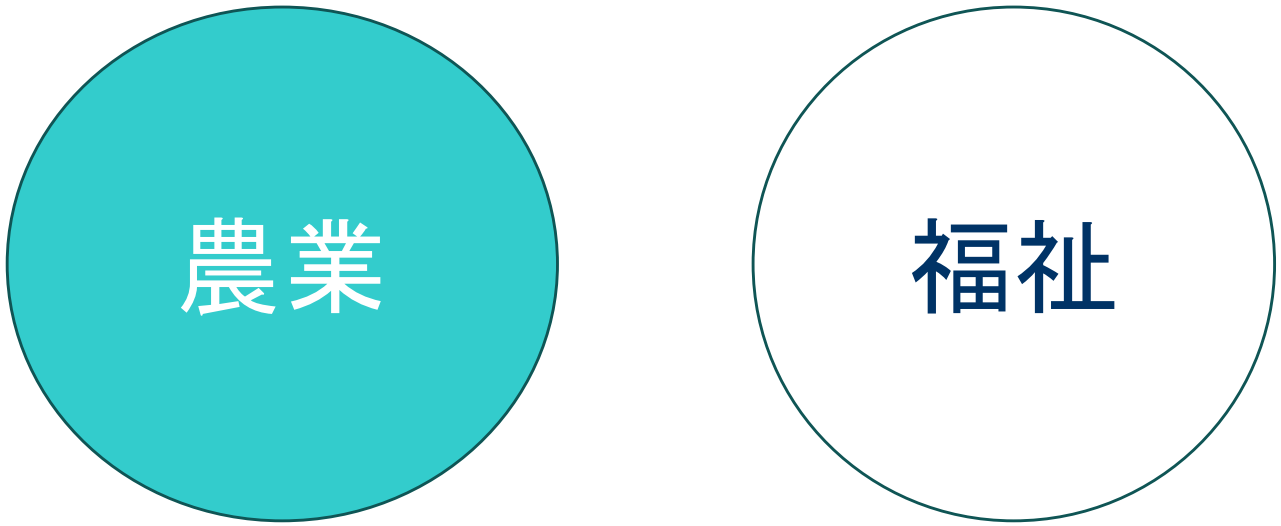
チーム情熱 チームリバー チームカネイ

ノウフク連携事業の開始

ノウ フク

ノウフク連携とは

農業と福祉 双方の課題解決をするための連携で、それによる相乗効果で互いにメリットが生まれる取り組み。



農業

福祉

他の農業の労働力支援 ➡ チームシリーズ

～県内を面で協力～ ノウフクアワード2021準グランプリ受賞



支援場所		作業内容	問題
南部	JAアグリあなん	トマトの収穫作業、みかんの出荷作業、荷受け、包装加工	人手不足
南部	JA徳島市	すだちの収穫、すだちの加工予冷センター、えだまめ	人手不足
東部	JA名西郡	ほうれん草種まき、包装加工	人手不足
東部	JA名西郡（すだち搾汁センター）	すだちの加工	人手不足
東部	JA名西郡青果センター	すだちの選別、梱包作業	人手不足
東部	JA麻植郡	人参の積み分け、水稻の育苗運搬	人手不足
西部	JA阿波市	集荷、荷受作業	人手不足
北部	株）JA板野郡アグリサポート	水稻の育苗運搬、ブロッコリー収穫、ピーマン収穫、除草作業	人手不足
北部	株）JA里浦ファーム	大根の洗い作業、大根収穫作業、除草作業、さつまいも加工作業	人手不足
北部	徳島青果高速運送（株	人参の積み分け	人手不足

新規就農者

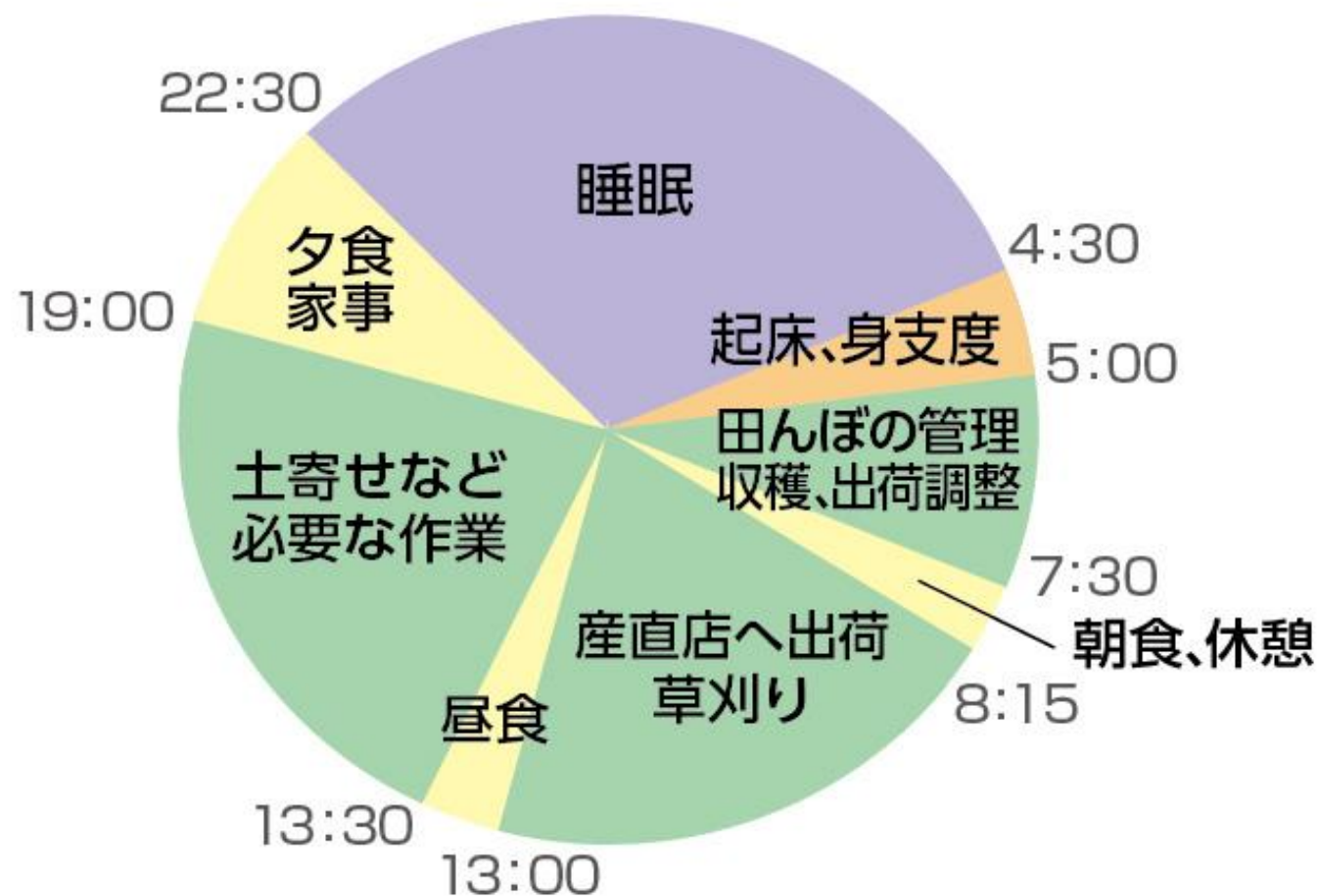
ひとりで全部やる➡菜々屋とチームシリーズ

農家
(新規就農者)



チームシリーズ

農業の仕事とは・・・



方法)栽培に専念できる仕組み作り

結果)

農家 ➡売上が上昇し、利益も上昇
➡生産拡大に意欲

チームシリーズ ➡毎年、安定した生産
売上を見込むことができる。同じ作業を
することで、作業効率がUPできる

栽培に専念できる形を伴走型で計画



ブランド野菜の高齢化

中山間地問題 ➡ 菜々屋 と チームシリーズ + 福祉事業所
支援学校
関連企業



チームシリーズ

ブランド野菜

福祉事業所
支援学校
関連企業

これからの菜々屋は……

徳島県の農業の20年後を見据えている

いち労働者だけではなく

農業の問題を改善しながら進んできた

これからもそのスタイルはかわらない

ご清聴ありがとうございました

